

宇喜田小十郎著

年中敬神錄

大阪書肆

文敬堂
文淵堂
合梓

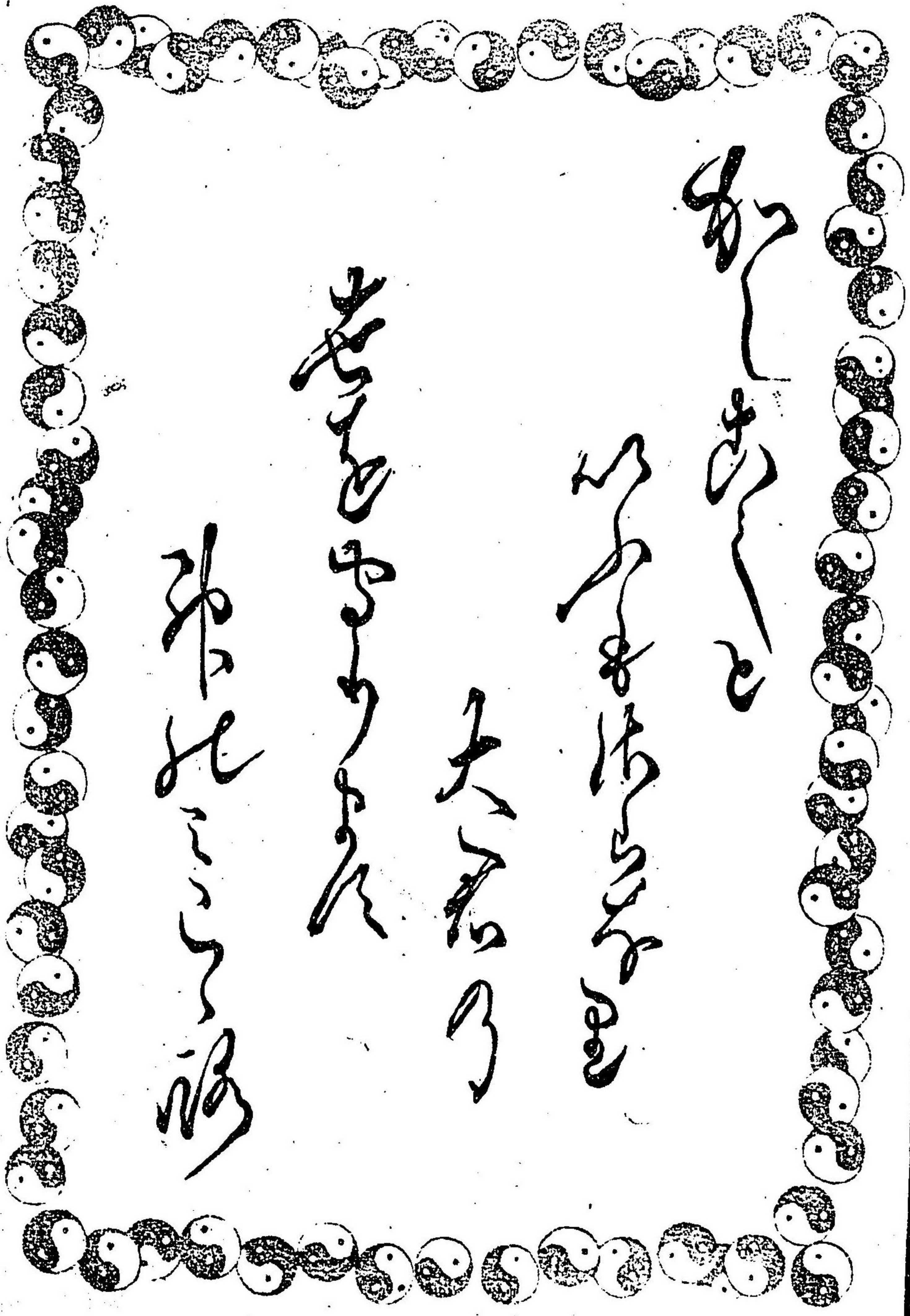
如

...

...

...

...



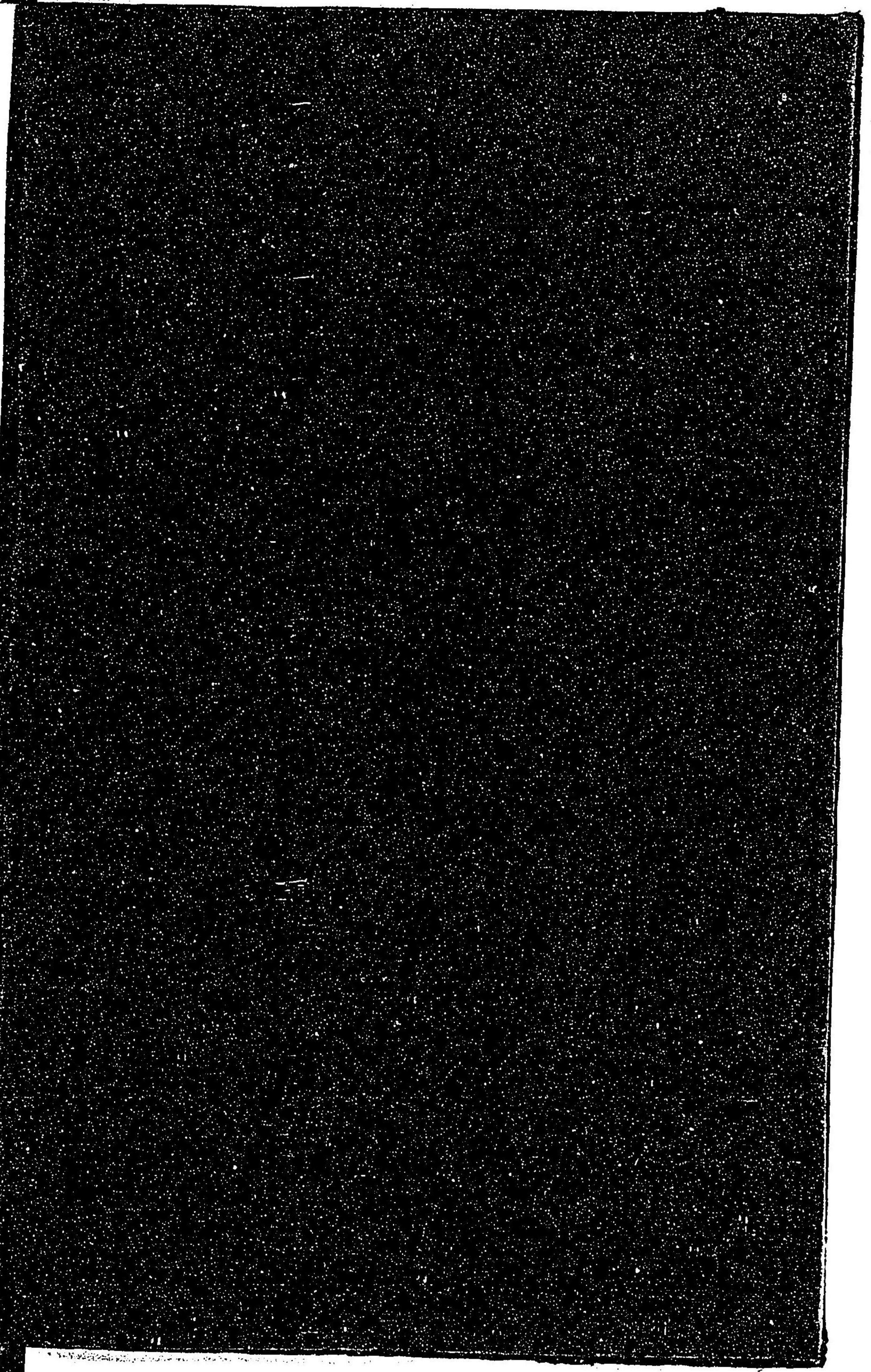
如 志 已

志 已 志 已 志 已

志 已 志 已

志 已 志 已 志 已

志 已 志 已 志 已

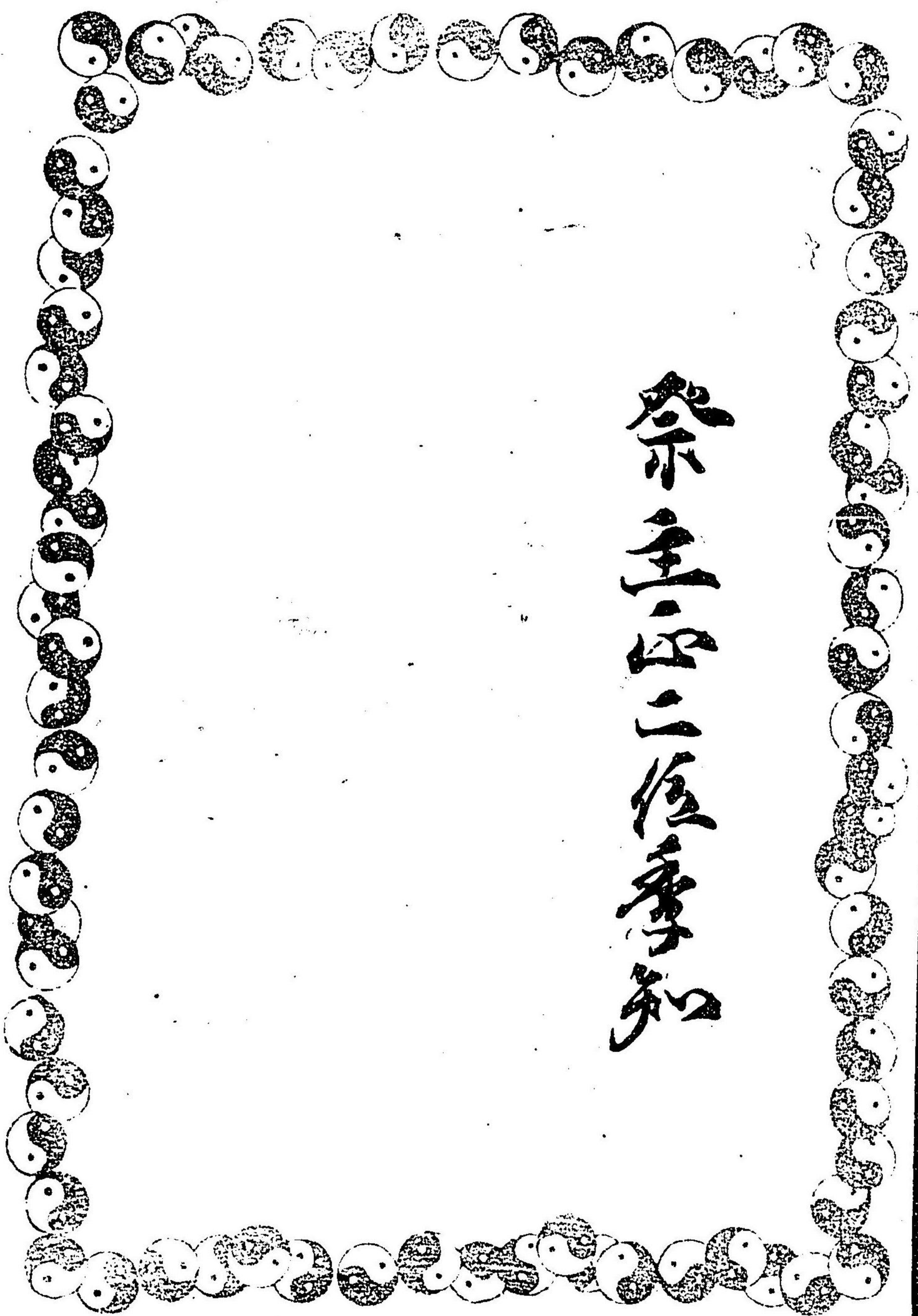




例

嘉平きつとめことと君れあふ
 豊秋津水穗の國の尊なる神
 於御来乃乎裳濯川の原に
 かく清く潔き文明の御代に
 菓もあふ神徳皇恩に浩大に
 りを謝やそむらぬあふくは太陽曆

祭主山二後季知

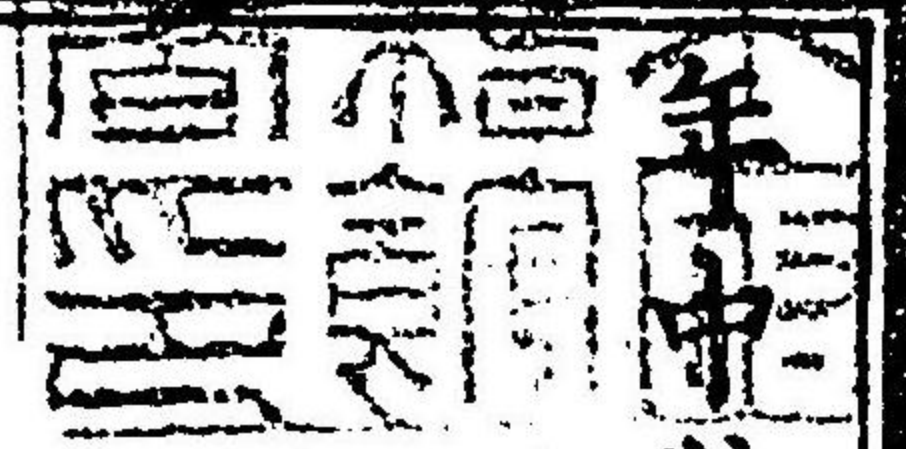
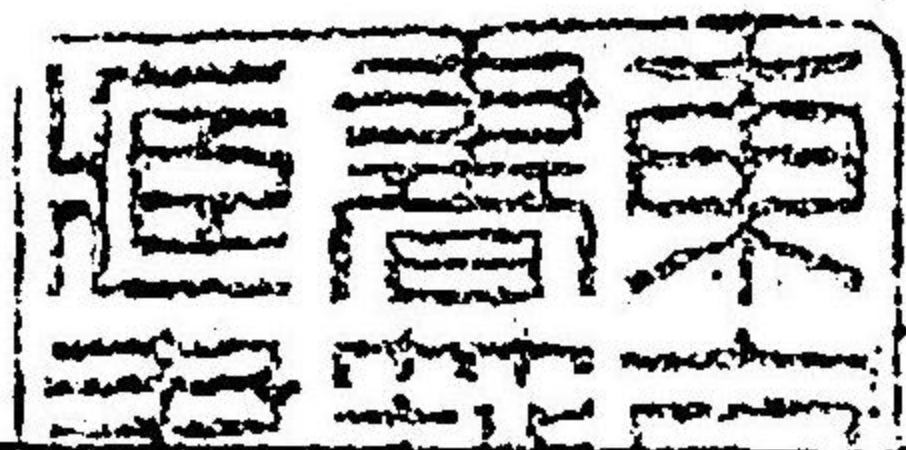


此の祭日と其の四方拜の式より紀元
 節天皇長を以て首を歴代聖日然祭
 祀大中神社に於て白火赦の式と爲り
 して不備なる解し幼童婦女子とて
 敬神の皇代意志と爲りて厚固あら
 しとむと歎し輯録して年中敬神
 録と題すつらあつら諸社の古産邦氏

子に祭禮御輿の録の返御と舊留書
 小準據しつら意むめれり日法合つらむ
 責とつらむは唯神國の邦とつら御
 祭典と知つら免邦民の邦民とつら
 至誠と書と一助とつらものとおれと
 看者つれを豫察しなむつらと爾
 云

明治七戌年初夏

宇喜多練要誌



年中敬神録

一月一日

西京 宇喜多小十郎 関

四方拜と^ヨり^モる^イ今日^キ年月日^{ツキヒ}の始^{ハジ}お^はじ^マり^シ皇^{ミコ}上^ノ御^ミ
 親^{オヤ}天^{アメ}地^{ツチ}神^{カミ}祇^{ニギハヤヒ}四^ヨ方^モの山^{ヤマ}陵^ノを拜^ヒ給^ハひて天^{アメ}下^ノの蒼^{アヲ}
 生^{ウマヒ}の為^{タメ}お^はす^シ年中^{ナカノ}の安^{ヤス}穩^シと祈^{イノ}り天^{アメ}下^ノ泰^{ヤス}平^シを祝^{イハ}し給^ハ
 ふ儀^ギ式^{シキ}お^はり又^{マタ}小^コ朝^{アサ}拜^イとて清^{スガ}涼^サ殿^ノか^かて臣^シ下^カ
 主^ミ上^ノと拜^イし奉^{ホウ}る儀^ギ式^{シキ}お^はり實^{サツ}や天^{アメ}照^テ御^ミ大^{オホ}神^{カミ}の御^ミ
 時^{トキ}よ^より今^{イマ}上^ノ皇^{ミコ}帝^ノか^か至^キる^マりて皇^{ミコ}統^{トウ}正^シしく^くして唯^タ

年中敬神録

一の御流ミナモトかて他姓カキと雜ミへど天地アメノチと俱トモ小易コカヤらざ
 るふとハ萬國マンコクハ例タトヘハかと譽ホメとあり更さらハ天地アメノチ開ヒラ
 けハ初ハジメより君臣キミノミミの禮義レイギ正ただした御國ミクニおとハ今ハ
 皇上ミカドハ四方ヨシカタ拜イハの禮レイあり臣下ミカドノミカドハ朝賀チウカの禮レイあり
 ありやかれハ平民ヘイミンハ貴キと御國ミクニハ生ナマと稟ウケしと悦ヨクハ
 聖恩セイオンと謝シヤし奉ホウと先祖センゾと禮レイし父母フボ妻子シ從類ジュウレイと俱トモ
 新年シンネンを祝イハし歳末サイマツもても家族カネタビ和合ワカフせむふとと
 冀ネガふるゝ

一月二日 元明天皇御祭典

御諱ミナトハ日本ヤマト根子ネコ天津ツクシ御代ミヨ豊國トヨクニ成姫ナリヒメ尊天ミコト智帝チミ第
 四の皇女ヨシメノミコト八年ハチネン位イと元正ゲンテイ帝ミカドハ禪ゼンり養老ヤウロウ五年ゴネン十二
 月七日ツキノナナハ崩御フタギヨ壽スズメ六十一

一月二日 飯豊天皇御祭典

御諱ミナト飯豊イヘトヨ青姫アヲヒメ尊履ミコト仲帝ナカミカドの皇孫ミコノミコト在位イニ九箇クニ月ツキ清寧セイネイ
 帝崩御ミカドノフタギヨ後ノチ十一月ヒツキノユヅリ崩御フタギヨ壽スズメ四十五

一月三日 元始祭

此日ココノヒハ皇上ミカド御身ミミ親ミナら天祖テンソ及オハ御代ミヨ々の神靈カミノレイを
 御祭ミマツルありて往古ムコト天孫テンソン降臨カマリの始ハジメより天日アマヒ嗣高座スナタカザ

三ノ口ミノクチ文フミ申マカ取トル

小即ツカせられし本始ハジメを尊タトび祝イハひ給タマふ御儀ミギおると
以ヨて元始ハジメ祭マツルと稱ナヅケをあり實ジツに大切タカクなる御祭ミマツル日ヒ
おまは萬民マンミンのそまくの産土ウチノチ神社シヤ小コ恭詣キヤウキし其家ソノカ
業ノの繁榮ハシ長久チカキを祈イノらへし

一月七日 崇神天皇御祭典

御諱ミナ御間城入彦ミマキ五十瓊殖尊イヒコ開化帝ヒラカヒ第二の皇子

六十八年十二月五日崩御壽百二十

一月九日 武烈天皇御祭典

御諱ミナ小泊瀬稚鷯コトセ鷯尊ササギ仁賢帝ニケンの太子タシ八年十二月

八日崩御壽五十七

一月十日 天智天皇御祭典

御諱ミナ天命タメニ開別尊ヒラカスミ朝明帝アサノの太子タシ十年十二月三

日崩御壽五十八初名ハ仲大兄皇子又葛城王カサキノミコと

も稱ナヅケを天皇ミコトいしと皇子ミコふてまは時中トキナカ臣ミコ錄キ

足タラシと謀マカりて逆臣サカサマ獲我トクニの入鹿イルカを誅戮チクリツせらる宿弊ヤクヘ

を一洗ヒツし給タマふ孝德カウタク齊明サイメイの兩朝リョウチャウハ皇太子ミコふて

輔翼ホヨクし給タマひ世ヨをまゑしめて十年近江國志賀

郡大津の宮ミヤふて即位イタスすし入鹿イルカの逆威サカサマふて

既スハ朝チウ庭テイの紀キ綱コウ乱ランままと能ヨク治チり凡ソド百ヒャクの禮レイ度ト法ホフ
則ス衣イ冠クワン帶タイ劍ケン官クワン職シヨク位イ階カ其ソノ外ソト國クニ郡クニの分ワケ割カ土ツチ田イの經キヤウ
界カイ百ヒャク姓シヨウ里リ居キヨおお至シるるままて經キヤウ綸リン給キヨクひひくくより起オキり
て方ハツ今イマおお至シるるままて萬マン民ミンの表メ準アテとあり禮レイ義ギ國クニと
おおりて異イ域イキよりも君クニ子シ國クニと稱ホウををおおままと偏ヒトおお天皇テンノウ
の功コウ德トクおおままの中ナカ興キヨウの主ヌシ上ウヘとを因ヨシて此コノ日ヒ天テン皇ノウの
德トクを仰オホきて轉テく語コト傳ツタへく禮レイ義ギを正タしくせん事コト
と思オモふべし

一月十一日

安寧アンネイ天皇御祭典

御諱磯城津彦玉手者尊綏靖帝の太子三十八年

十二月六日崩御壽五十七

一月十一日 清和セイワ天皇御祭典

御諱惟仁文德帝第四の皇子貞觀十八年禪位元

慶四年十二月四日崩御壽三十一

一月十五日 光仁ミチニ天皇御祭典

御諱白壁天智帝の皇孫天應元年十二月廿三日

崩御壽七十三

一月十六日 東山院トウサンイン天皇御祭典

御諱朝仁靈元帝第四の皇子宝永六年十二月十

七日崩御壽三十五

一月十七日 持統天皇御祭典

御諱高天原廣野姫尊天智帝第二の皇女十一年

禪位大室二年十二月廿二日崩御壽五十八

一月廿七日 安閑天皇御祭典

御諱勾大兄廣國押武金日尊繼體帝第一皇子二

年十二月七日崩御壽七十

一月廿七日 後花園院天皇御祭典

御諱彥仁崇光帝の曾孫寛正五年禪位文明二年

十二月廿七日崩御壽五十二

一月三十日 孝明天皇御祭典

御諱統仁仁孝帝第四の皇子慶應二年十二月廿

五日崩御壽三十七

二月一日 春日祭

春日神社の大和國添上郡奈良より祭神四座

御鎮座あり

二月一日 牧岡祭

牧岡神社へ河内國ヨリ祭神春日と同一祀也

二月四日 祈年祭班幣

延喜式ハ曰ク四時祭の上祈年祭の神三千一百三

十二座云此祈年祭ハ朝廷ヨリ天神地祇を祭ら

セ給ヒ雨風の不順おク五穀豊熟して萬民快樂

おらんおとを祈り給ふ殊更伊勢の神宮へ奉幣

の勅使を立ち其外國々の官社へ幣物を班ち

給ふ大典おまハ内國の万民此御趣意を得意

已々の家内の神棚へ燈明供物を捧げ朝廷の御

仁恤を拜し俱ハ五穀豊熟を祈り奉るへ

二月六日 高倉院天皇御祭典

御諱憲仁後白河帝第三の皇子養和元年正月十

四日崩御壽二十一

二月六日 正親町院天皇御祭典

御諱方仁後奈良帝第二の皇子天正十四年禪位

文祿二年正月五日崩御壽七十五

二月八日 仁徳天皇御祭典

御諱大鷦鷯尊應神帝第四の皇子八十七年正月

十六日崩御壽百廿二

二月八日北朝崇光院天皇御祭典

御諱興仁光嚴帝の皇子應永五年正月十三日崩

御壽六十五

二月八日大原野祭

大原野神社山城國愛宕郡大原郷小鎮座祭神

春日と同く祀ふ

二月九日允恭天皇御祭典

御諱雄朝津間稚子宿禰尊仁德帝の第四子四十

二年正月十四日崩御壽八十

二月十一日紀元節

人皇第一代神武天皇御即位の日あるを以て紀

元節と號し奉る御諱ハ神日本磐余彥火々出見

尊と稱し奉り鸕鷀草葺不合尊第四の皇子あり

大和國橿原小都と定先給ふは人皇の始祖と

仰さ奉る因之天下の祝日として各職業を休と

遙拜し奉り賑々しく祝ひ御大祖の御恩を思ひ

今上聖皇御宝祚を祈り奉るへ

二月十三日 反正天皇御祭典

御諱瑞齒別尊仁德帝第三皇子六年正月廿三日
崩御壽六十

二月十三日 後朱雀院天皇御祭典

御諱敦良後一條帝の同母弟寛德二年正月十八
日崩御壽三十七

二月十七日 四條院天皇御祭典

御諱秀仁後堀河帝第一の皇子仁治三年正月八
日崩御壽十二

二月廿一日 仁孝天皇御祭典

御諱惠仁光格帝第四の皇子弘化三年正月廿六
日崩御壽四十七

二月廿三日 孝安天皇御祭典

御諱日本足彦國押人尊孝昭帝第二の皇子百二
年正月九日崩御壽百三十七

二月廿八日 清寧天皇御祭典

御諱白髮武廣國押推日本根子尊雄畧帝第三皇
子五年正月十六日崩御壽四十三

三月一日 出雲祭

出雲神社ハ出雲國神門郡杵築ハオ、アチノキノミ大己貴尊カニツヨリキツキト祭ヲ奉ル

三月六日 圓融院天皇御祭典

御諱守平冷泉帝の同母弟永觀二年シキ禪位正曆二年二月十二日崩御壽三十三

三月八日 仲哀天皇御祭典

御諱足仲彦尊景行帝の皇孫日本武尊の第二子九年二月六日崩御壽五十二

三月十二日 繼體天皇御祭典

御諱男大迹尊應神帝五世孫廿五年二月七日崩御壽八十二

三月十六日 廣田祭

廣田神社ハ攝津國武庫郡濱西ハ鎮座蛭兒尊ト勸請ト

三月十七日 宣化天皇御祭典

御諱武小廣國押盾尊安閑帝同母弟四年二月十日崩御壽七十三

三月二十日北朝後光嚴院天皇御祭典

御諱彌仁光嚴帝第二の皇子應安七年正月廿九

日崩御壽三十七

三月廿一日 春季祭

公事根源曰天平元年四月八日ふとくをらぬ貞

觀の頃ハ毎季行りまけりとうやまは四海太平

萬民快樂の御祭おれハ各の慎みて朝廷と遙拜

とくべ

三月廿三日 孝靈天皇御祭典

御諱大日本根子彦太瓊尊孝安帝の太子七十六

年二月八日崩御壽百二十八

三月廿三日 花山院天皇御祭典

御諱師貞冷泉帝第一の皇子寛和二年禪位寛弘

五年二月八日崩御壽四十一

三月廿五日 後嵯峨院天皇御祭典

御諱邦仁土御門帝第四の皇子寛元四年禪位文

永九年二月十七日崩御壽五十三

三月廿六日 後西院天皇御祭典

御諱良仁後光明帝の皇弟寛文三年禪位貞享二年二月廿二日崩御壽四十九

四月一日 應神天皇御祭典

御諱譽田別尊仲哀帝第四の皇子四十一年二月

十五日崩御壽百十一

四月一日 大和祭

大和神社ハ大和國山邊郡大和ハハ大國魂神

と祭と奉る

四月二日 松尾祭

松尾神社ハ山城國葛野郡松尾村ハハ大山咋神と祭と奉る

四月二日 平野祭

平野神社ハ山城國愛宕郡ハハ第一今木神日ヤ木武尊あり源氏の氏神第二久度神仲哀天皇也平氏の神第三古關神仁徳天皇ハハ高階氏神第四比賣神天照大神ハハ大江の氏神第五縣神天穗耳命ハハ中原清原菅原秋篠四姓の氏神ハハ

四月三日 神武天皇御祭典

神武天皇ハ上ニ掲ケル如ク七十六年三月十日崩御壽百二十七中興ノ御大祖カミハ朝廷モ宮中ニホカミク皇上帝親祭アラセラル因テ天下ニ休暇ヲ給ヒ各地方ノ官社ニホテ詣リテ遙シ大和國ノ御陵ヲ再拜シ御恩ヲ謝シ奉ルヘシ也

四月三日 梅宮祭

梅宮神社ハ山城國葛野郡ハリリ四社御鎮座トシテあり

四月四日 後鳥羽院天皇御祭典

御諱尊成高倉帝第四ノ皇子建久九年禪位延應元年二月廿二日崩御壽六十

四月四日 廣瀬祭

廣瀬神社ハ大和國廣瀬郡ハリリ宇加賣命ヲ祭リ奉ル

四月四日 龍田祭

龍田神社ハ大和國平群郡ハリリ天御柱國御柱ノ神アリ則龍田比古龍田比女ノ二神あり

四月六日 後村上天皇御祭典

御諱義良後醍醐帝第八の皇子正平廿三年三月十一日崩御壽四十一

四月九日 大神祭

大神神社ハ大和國大神ハあり大物主神ヲ祭り奉る三輪の神社あり

四月九日 縮荷祭

縮荷神社ハ山城國紀伊郡ハあり三社御鎮座あり

四月十三日 桓武天皇御祭典

御諱日本根子皇統珍照尊光仁帝の長子延暦二十五年三月十七日崩御壽七十

四月十四日 日吉祭

日吉神社ハ近江國滋賀郡ハあり祭神二十一社あり

四月十五日 賀茂祭

賀茂神社ハ山城國愛宕郡ハあり下賀茂ハ御祖の神ニ座上賀茂ハ別雷神社あり

四月十八日 推古天皇御祭典

御諱豐御食炊屋姫尊欽明帝の中女三十六年三月七日崩御壽七十五

四月十八日 吉田祭

吉田神社ハ山城國愛宕郡吉田村ハあり 祭神春日社ト同神あり

四月三十日 履中天皇御祭典

御諱去來穗別尊仁德帝の太子六年三月十五日崩御壽七十七

五月二日 安徳天皇御祭典

御諱言仁高倉帝第一の皇子文治元年三月廿四日崩御壽八

五月三日 後白河院天皇御祭典

御諱雅仁崇徳帝同母弟保元三年禪位建久三年

三月十三日崩御壽六十六

五月十日 仁明天皇御祭典

御諱正良嵯峨帝第二の皇子嘉祥三年三月廿一日崩御壽四十一

五月十日 中御門天皇御祭典

御諱慶仁東山帝第五皇子享保二十年禪位元文二年四月十一日崩御壽三十七

五月廿一日 開化天皇御祭典

御諱稚日本根子彥大日日尊孝元帝第二の皇子六十年四月九日崩御壽百十五

五月廿一日 後一條院天皇御祭典

御諱懷仁圓融帝第一の皇子寛弘八年六月廿二日崩御壽三十二

五月廿三日 用明天皇御祭典

御諱橘豐日尊欽明帝第四皇子二年四月九日崩御壽六十九

五月廿五日 後伏見院天皇御祭典

御諱胤仁伏見帝第一の皇子正安三年禪位延元元年四月六日崩御壽四十九

五月廿六日 欽明天皇御祭日

御諱天國押開廣庭尊繼體帝の皇子三十二年四月十五日崩御壽六十三

五月廿六日 元正天皇御祭日

御諱日本根子高瑞淨足姬尊文武帝の皇姊養老

七年禪位天平二十年四月廿一日崩御壽六十九

五月廿八日 後冷泉院天皇御祭典

御諱親仁後朱雀帝の長子治曆四年四月十九日

崩御壽四十四

五月廿八日 後柏原院天皇御祭典

御諱勝仁後土御門帝第一の皇子大永六年四月

七日崩御壽六十三

五月廿八日 櫻町院天皇御祭典

御諱昭仁中御門帝第一の皇子延享四年禪位寛

延三年四月廿三日崩御壽三十一

六月一日 丹生川上祭

丹生神社ハ大和國小川祭神素盞雄尊御鎮座

まはらり

六月一日 貴船祭

貴船神社ハ山城國愛宕郡貴船小御鎮座

まはらり

六月一日 東照祭

從一位大政大臣德川家康朝廷を輔翼し太平の
基と開き萬民干戈の苦しとを除き給ふ功しを
以て贈正一位東照權現と 勅許あり下野國都
賀郡日光山に勸請を

六月三日 顯宗天皇御祭典

御諱袁祁之石巢別尊履仲帝の皇孫三年四月廿
五日崩御壽三十八

六月四日 神宮月次祭幣帛發遣

神宮月次祭の祈年祭と同しく内國安泰五穀豐

熟と祈給ふと幣帛發遣し給ふ御日あり皇上
の内國を以て宅々給ふく安泰と祈給ふ万民
此御恩を會得し各一家の安穩と祈り神棚を
清淨し再拜して祈念をへし

六月七日 聖武天皇御祭典

御諱天璽國押開豐櫻彦尊文武帝第一皇子天平
咸宝元年禪位天平勝宝八年五月二日崩御壽五
十六

六月十一日 三條院天皇御祭典

御諱居貞冷泉帝第二皇子長和四年禪位寬仁元年五月九日崩御壽四十二

六月十四日 北朝後園融院天皇御祭典

御諱緒仁後光嚴帝の長子明德四年四月廿六日崩御壽三十六

六月十四日 氷川祭

氷川神社ハ武藏國豊島郡小御鎮座トシテ

六月十五日 淳和天皇御祭典

御諱大伴桓武帝第三の皇子天長十年禪位兼和七年五月八日崩御壽五十五

六月十五日 八坂祭

八坂神社ハ山城國愛宕郡八坂郷ニシテ祭神三座御鎮座ナリ

六月十五日 札幌祭

札幌神社ハ北海道石狩國ニシテ祭神大國主神ト勸請シ奉ル

六月廿一日 後三條院天皇御祭典

御諱尊仁後朱雀帝第二の皇子延久五年五月七日崩御壽四十一

六月廿一日 熱田祭

熱田神社ハ尾張國愛智郡宮驛ハリリ祭神日本武尊御鎮座アリ

六月廿二日 綏靖天皇御祭典

御諱神渟名川耳尊神武帝第三の皇子三十三年

五月十日崩御壽八十四

六月廿五日 仲恭天皇御祭典

九條天皇と稱す御諱ハ懷成順德帝第一の皇子在位僅ハ四箇月文曆元年五月廿日崩御壽十七

明治三年七月廿三日 謚号一奉る

六月三十日 大赦

大赦ハ六月三十日十二月三十一日兩度行ハ給ス御式ニテ原由ハ素盞雄尊より發ス宮中ハ於ても皇上御親大赦の式を行ヒ給ヒ百官諸局も赦の式アリ六月ハ年の半ハてあリテ思フど犯モ所ノ罪科を懺悔し再ヒ罪を發スル

を懺悔よりいふまゝ困て万民各地方の土産神
社へ恭詣し至誠を以て細瑣の罪科たりとも懺
悔し被ひ除きて心を白紙の如く成して再び悪
を犯さざるを誓ひ正直清潔と成就し少くも神
の御意に近うするを思惟まづ

六月三十日 住吉祭

住吉神社の攝津國住吉郡より祭神四座鎮座

きまはあり

七月十日 村上 天皇御祭典

御謹成 醍醐帝第十四の皇子康保四年五月廿
五日崩御壽四十二

七月十日 安房祭

安房神社の安房國安房郡の御鎮座よりすはか
ま

七月十二日 淡川祭

淡川神社の攝津國八郡郡淡川より祭神ハ楠
贈左中将正成を勸請し此神元弘建武の時朝廷
へ忠烈無雙の人ありて淡川に於て戦死を遂げ

らる主上甚悼惜まゝく追贈ありく三位左中
將小任せらるる實小忠勇智謀兼備ありく千古忠臣
の第一等あり人倫の模範とせしめられハ明
治三年皇上忠魂を招き神号を勅許あり給ふ
忠義の巨福朽らて數百年の後世ハ薰發せらる
るや未代まゝ義士を勵むべしとありて貴賤と
おく此日ハ遇て國家ハ忠を盡しむるを思慮
せらる

七月廿二日 文武天皇御祭典

御諱天之真宗豊祖父尊天武帝の皇孫慶雲四年
六月十五日崩御壽二十五

七月廿四日 後宇多院天皇御祭典

御諱世仁龜山帝第二の皇子弘安十年禪位正中
元年六月廿五日崩御壽五十八

七月廿六日 垂仁天皇御祭典

御諱活目入彦五十狹茅尊崇神帝第三の皇子九

十九年七月三日崩御壽百四十一

七月廿七日 鳥羽院天皇御祭典

御諱宗仁堀河帝の長子保安四年禪位保元元年

七月二日崩御壽五十五

七月廿九日 成務天皇御祭典

御諱雅足彦尊景行帝第四の皇子六十年六月十

一日崩御壽百八

七月三十日 一條院天皇御祭典

御諱懷仁圓融帝第一の皇子寛弘八年六月廿二

日崩御壽三十二

七月三十日 白河院天皇御祭典

御諱貞仁後三條帝の長子應徳三年禪位大治二

年七月七日崩御壽七十七

八月三日 北朝 光明院天皇御祭典

御諱豊仁後伏見帝の皇子康暦二年六月廿四日

崩御壽六十

八月四日 北野祭

北野神社ハ山城國上京ヨリ祭神ハ菅原贈大

政大臣道真と勸請を此神ハ大職冠鎌足以後世

ふあどびあに名臣ふして賢明仁徳ハ幼童走卒

ゆきも傳誦せむとりもくもく朝廷も火雷天神
と崇を給ふ實ふ此神の英烈と感激して至誠正
直の志と立むあを思ふへとあり

八月九日 平城天皇御祭典

御諱日本根子天排國高彥尊桓武帝の皇子大同

四年禪位天長元年七月七日崩御壽五十一

八月十一日 後龜山院天皇御祭典

御諱瀨成後村上帝弟二の皇子元中元年禪位應

永三十一年四月十二日崩御壽七十八

八月十三日北朝光嚴院天皇御祭典

御諱量仁後伏見帝の皇子貞治三年七月七日崩

御壽五十二

八月十三日 大鳥祭

大鳥神社ハ和泉國大鳥郡わらり祭神日本武尊

御鎮座あり

八月十五日 男山祭

男山神社ハ山城國綴喜郡男山石清水神社あり

祭神應神天皇御鎮座あり

八月十五日 宇佐祭

宇佐神社ハ豊前國宇佐郡ニあり祭神男山同神
あり

八月十六日 堀河院 天皇御祭典

御諱善仁白河帝第二の皇子嘉業二年七月十九
日崩御壽二十九

八月十六日 三島祭

三島神社ハ伊豆國田方郡ニあり祭神大山祇神
御鎮座あり

八月十八日 鹿島祭

鹿島神社ハ常陸國鹿島郡ニあり武甕槌命を勸
請ト奉る

八月二十日 香取祭

香取神社ハ下総國香取郡ニあり祭神經津主命
御鎮座一給ふり

八月二十日 鎌倉祭

鎌倉神社ハ相模國鎌倉郡ニあり兵部卿の宮護
良親王を勸請一奉る此神元弘建武の頃天下の

忠臣義士を集先兵と發し北條高時遂に天誅を
 伏し天下一度治りうども足利高氏の讒よか
 うまく鎌倉を幽せり是直義の爲に害せり是給
 り明治三年招魂祭神あり
 八月廿四日 弘文天皇御祭典
 御諱大友天智帝の長子在位七箇月天皇元年七
 月廿三日崩御壽二十五明治三年七月廿三日謚
 号一奉る

八月廿五日 後深草院天皇御祭典

御諱久仁後嵯峨帝第二の皇子正元元年禪位嘉
 元二年七月十六日崩御壽六十二

八月廿七日 齊明天皇御祭典

御諱天豐財重日足姬尊敏達帝の曾孫四年禪位
 重祚七年七月廿四日崩御壽六十八

八月廿八日 嵯峨天皇御祭典

御諱神野桓武帝第二の皇子弘仁十四年禪位
 和九年七月十五日崩御壽五十七

八月廿九日 近衛院天皇御祭典

御諱體仁崇徳帝の皇弟久壽二年七月廿三日崩御壽十七

八月三十日 六條院天皇御祭典

御諱順仁二條帝第二の皇子仁安三年禪位安元

二年七月十八日崩御壽十三

八月三十日 孝昭天皇御祭典

御諱觀松彦香殖稻尊懿徳帝の太子八十三年八

月五日崩御壽百十四

八月三十日 桃園院天皇御祭典

御諱遐仁櫻町帝第一皇子宝曆十二年七月十二

日崩御壽二十二

九月一日 孝謙天皇御祭典

御諱阿閉聖武帝第一の皇女天平宝字二年禪位

重祚稱徳帝と號し奉る神護景雲四年八月四日

崩御壽五十三

九月七日 後堀河院天皇御祭典

御諱茂仁高倉帝皇孫貞永元年禪位文曆元年八

月六日崩御壽二十三

九月八日 宇多院天皇御祭典

御諱定省光孝帝弟七の皇子寛平九年多平禅位多平兼平

元年七月十九日崩御壽六十五

九月八日 稱光院天皇御祭典

御諱實仁後小松帝弟一皇子正長元年七月廿日

崩御壽二十八

九月九日 雄略天皇御祭典

御諱大泊瀬幼武尊允恭帝弟五の皇子廿三年八

月七日崩御壽六十二

九月九日 生國魂祭

生國魂神社ハ攝津國西成郡小御鎮座

ろり

九月十日 仁賢天皇御祭典

御諱大脚頭宗帝の同母兄十一年八月八日崩御

壽五十一

九月十一日 朱雀院天皇御祭典

御諱寬明醍醐帝弟十一皇子天慶九年多平禅位多平天曆

六年八月十五日崩御壽三十

九月十一日 後水尾院天皇御祭典

御諱政仁後陽成帝第三の皇子寛永六年禅位延

宝八年八月十九日崩御壽八十五

九月十二日 二條院天皇御祭典

御諱守仁後白河帝第一の皇子永萬元年七月廿

八日崩御壽二十三

九月十五日 石上祭

石上の神社へ大和國より祭神素盞雄尊御鎮

座あり

九月十六日 敏達天皇御祭典

御諱濟名倉太珠敷尊欽明帝第二皇子十四年八

月十五日崩御壽四十八

九月十七日 神宮神嘗祭

神宮神嘗祭ハ天照皇御大神嘉穀と重り給ひ稻

と水田種子と粟稗麦豆と陸田種子とて嘉

穀の種を天下に繁行して万民飢ふいとあり是

皇大神の賜ものおとし本日本皇大神宮に幣帛新

稻と供せらるありされ新穀熟せると見て

皇大神宮の深恩あると思ひ此日お遇ふての家
族お言ひ聞せ再拜して御恩と謝し奉る可おと

九月十八日 後二條院天皇御祭典

御諱邦治後宇多帝第一の皇子徳治三年八月廿

五日崩御壽二十四

九月十八日 豊國祭

豊國の神社ハ山城國愛宕郡ふらり豊臣大政大
臣羽柴秀吉ハ其初微賤より發り信長ハ仕へ明
智と亡し柴田を殺し関左中國四國九州道も攻

靡け天下の動乱と鎮め朝廷を補翼し終ハ関白
ハ昇り吾國の武威を異邦ハ轟く給ふ薨去の
後朝廷勅許して豊國大明神と追謚し給ふされ
ハ卑賤としたる志を立て智識を開き朝恩と思ひ
國益を計り名と遠く海外ハ揮く高位ハ昇進せ
むとと思ふべし

九月廿一日 光孝天皇御祭典

御諱時康仁明帝第三の皇子仁和三年八月廿六

日崩御壽五十八

九月廿一日 崇徳院天皇御祭典

御諱 顯仁鳥羽帝の長子 永治元年 禅位 長寛二年

八月廿六日 崩御 壽四十六

九月廿一日 白峯祭

白峯の神社に上京より 明治五年 崇徳帝の御

霊と讃岐國白峯より 遷奉

九月廿二日 井伊谷祭

井伊谷の神社に 参河國加茂郡より 征東大將

軍官宗良親王を 勸請し奉る

九月廿三日 秋季祭

春季御祭典 小同

九月廿四日 靈元院天皇御祭典

御諱 識仁後西院帝の皇弟 貞享四年 禅位 享保十

七年 八月六日 崩御 壽七十九

九月廿五日 安康天皇御祭典

御諱 穴穂尊 允恭帝 第二の皇子 三年 八月九日 崩

御壽五十六

九月廿五日 後陽成院天皇御祭典

御諱周仁正親町帝の皇孫慶長十六年禪位元和

三年八月廿六日崩御壽四十七

九月廿六日 國懸祭

國懸の神社に紀伊國名草郡に御鎮座

か

九月廿六日 日前祭

日前の神社に紀伊國名草郡に御鎮座

か

九月廿七日 後醍醐天皇御祭典

御諱尊治後宇多帝第二の皇子延元四年八月十

六日崩御壽五十二

十一月一日 懿徳天皇御祭典

御諱大日本彦親友尊安寧帝第二の皇子三十四

年九月八日崩御壽七十七

十月四日 天武天皇御祭典

御諱天淳中原瀧真人尊天智帝の同母弟朱鳥元

年九月九日崩御壽六十五

十月七日 後奈良院天皇御祭典

御諱知仁後栢原帝第一の皇子弘治三年九月五日崩御壽六十二

十月十一日 孝元天皇御祭典

御諱大日本根子彦國牽尊孝靈帝の太子五十七

年九月二日崩御壽百十七

十月十一日 文德天皇御祭典

御諱道康仁明帝の太子天安二年八月廿七日崩

御壽三十三

十月十二日 龜山院天皇御祭典

御諱恒仁後深草帝の同母弟文永十一年禪位嘉

元三年九月十五日崩御壽五十七

十月十四日 順徳院天皇御祭典

御諱守成後鳥羽帝第二の皇子兼久三年禪位仁

治三年九月十二日崩御壽四十六

十月十六日 伏見院天皇御祭典

御諱熙仁後深草帝第二の皇子永仁六年禪位文

保元年九月三日崩御壽五十三

十月廿一日 醍醐天皇御祭典

御諱敦仁宇多帝第一の皇子延長八年九月廿九日崩御壽四十六

十月廿八日 陽成院天皇御祭典

御諱貞明清和帝第一の皇子元慶八年禪位天曆

三年九月廿九日崩御壽八十二

十月三十日 後光門院天皇御祭典

御諱紹仁後水尾帝第四皇子美應三年九月廿日

崩御壽二十二

十月三十日 後土御門院天皇御祭典

御諱成仁後花園帝の第一皇子明應九年九月廿八日崩御壽五十九

十一月三日 天長節

本日ハ皇上御降誕の日あるを以て天長節と稱す
一 年中最大の御祝日ハ朝廷ハも宮中ハ於
て御祭典行ハヤラヒ伊勢神宮并ハ官社以下諸
社ハ於て御祭祀を行ヒ人々悉ク拜賀セリ
免給ム皇土ハ頭界を主宰成リ給ム御恩徳廣大
あるを誰モ能ク知リ所あり因之天下ハ休暇

を給ひ萬民祝賀し最も家内和合して御寶祚万
萬歳を奉祝せしむるあり

十月十日 新嘗祭班幣

新嘗祭班幣ハ祈年祭ホヨリテ五穀豊熟天下平
安あるを以て奉賽の為伊勢神宮へ奉幣の勅使
を立給ふ御祝日おれハ万民神恩を思ふ可き日
あり

十一月十三日 土御門院天皇御祭典

御諱為仁後鳥羽帝第一の皇子承元四年禪位寛

喜三年九月十二日崩御壽三十七

十一月十四日 淳仁天皇御祭典

御諱大炊天武帝の皇孫天平宝字八年上皇天皇

と廢て天平神護元年十月廿三日崩御壽三十三

明治三年七月廿三日謚号一奉る

十一月二十日 舒明天皇御祭典

御諱息長足日廣額尊敏達帝孫十三年十月九日

崩御壽四十九

十一月廿二日 鎮魂祭

公車根源の曰人への魂魄の二の魂の塊の陽
 氣魄の陰氣あり此祭の離越の運魂を招きて身
 體の中府ふありむる宇摩志麻治命のときより
 起るよき出さ神をいさえ鎮座の祭られたり地方
 の産土神社へ参詣して神を奉仕くそづく

十一月廿三日

新嘗祭

新嘗祭の祈年祭の相對より御祭典ありて皇上
 御親新穀の初穂を以天照大御神を始奉り天神
 地祇を奉祭し給ふ大切なる御祭典あり皇上御

即位の年ふありと大嘗祭とりて御一代第
 一の御大禮とされり朝廷の忝きと思ひ或は
 神社へ参詣し神徳皇恩を謝し奉らんあと思
 ふ可きあり

十一月廿七日

孝徳天皇御祭典

御諱天萬豊日尊皇極帝の同母弟元年始て年号
 を建て大化とを白雉五年十月十日崩御壽五十
 九

十一月廿七日

冷泉院天皇御祭典

御諱憲平村上帝第二の皇子安和二年禪位寛弘

八年十一月廿四日崩御壽六十二

十二月四日 神宮月次祭幣帛發遣

六月と同祭あり

十二月四日 明正院天皇御祭典

御諱興子後水尾帝第二皇女寛永二十年禪位元

祿九年十一月十日崩御壽七十七

十二月六日 後桃園院天皇御祭典

御諱英仁桃園帝第一の皇子安永八年十月廿九

日崩御壽二十二

十二月十日 花園院天皇御祭典

御諱富仁伏見帝第二の皇子文保二年禪位貞和

四年十一月十一日崩御壽五十二

十二月十日 後小松院天皇御祭典

御諱幹仁後圓融帝第一の皇子應永十九年禪位

永享五年十月廿日崩御壽五十七

十二月十二日 光格天皇御祭典

御諱兼仁東山帝曾孫文化十四年禪位天保十一

年十一月十九日崩御壽七十

十二月十四日 崇峻天皇御祭典

御諱泊瀬部尊欽明帝第十二の皇子五年十一月

三日崩御壽七十三

十二月廿三日 景行天皇御祭典

御諱大足彦忍代別尊垂仁帝第三之皇子六十年

十一月七日崩御壽百四十三

十二月廿四日 後櫻町院天皇御祭典

御諱智子桃園帝の皇姊明和七年禪位文化十年

閏十一月二日崩御壽七十四

十二月三十日 大掖

本日朝廷ふ於て大掖を行ひ給ふ其式六月ハ異
あつた因て六月以後ハ犯ハたる罪科ハ懺悔ハ
て掖ハひ清キヨ免家内和合して新年を迎ムふべし

年中敬神錄終

明治七年第五月御免許
同 六月發 兌

輯者

京都府下

宇喜田小十郎

大隈齊橋筋本町

書肆

同

梶田喜藏

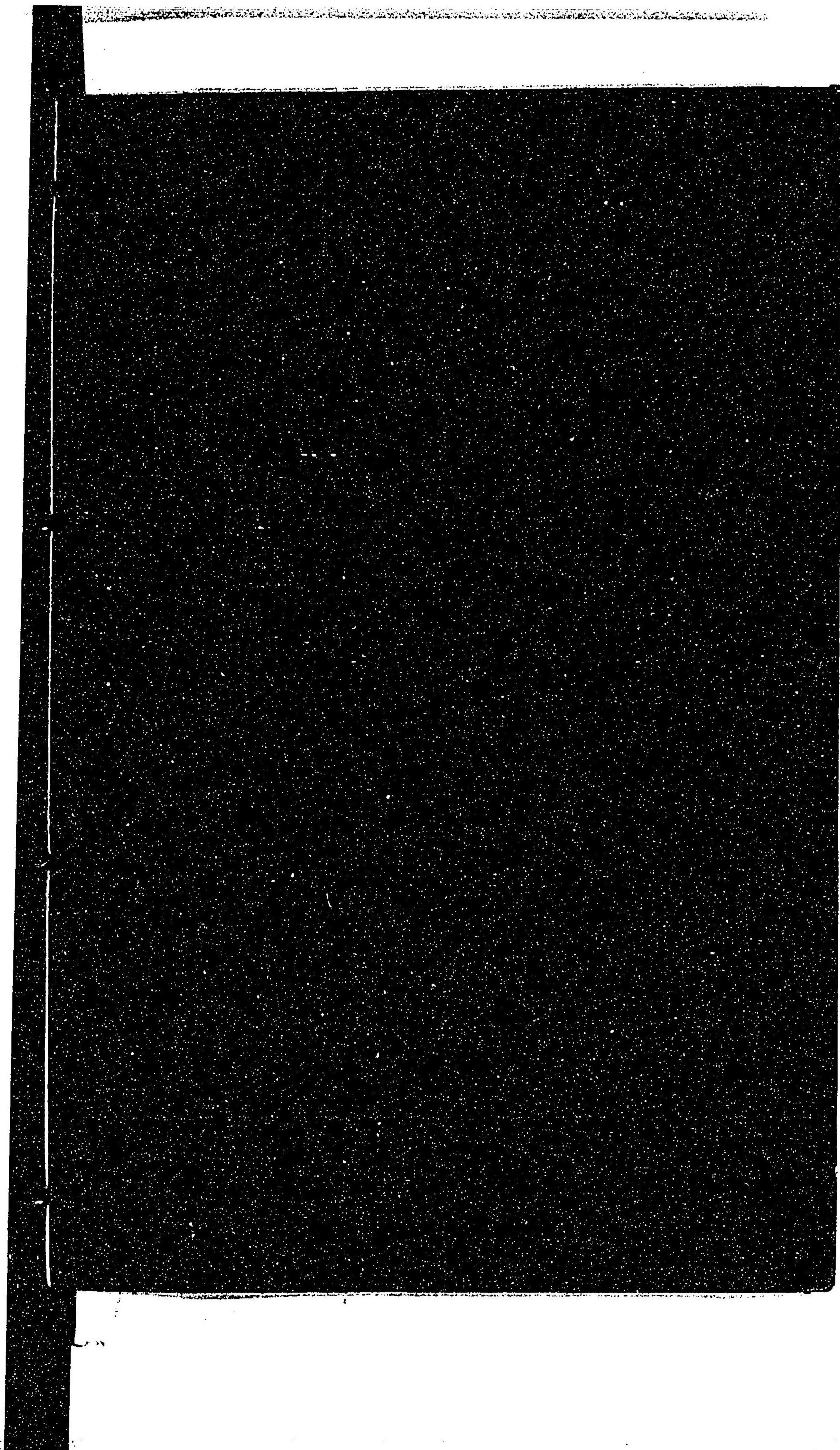
南本町

金尾為七

22

1

64



特35

810

神祇名				
一	一	一	五	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一

五
一
木

014512-000-2

特35-810

年中敬神録

宇喜多 小十郎/著

M7

ABB-0890

